

JAだより

7

2018

July

第121号

特集

第11回通常総代会



表紙の写真

第11回通常総代会

JA白山多目的ホールにおいて第11回通常総代会を開催。
より一層、地域・組合員との振興を図り、さらなる発展を誓った。

第11回 通常総代会



第11回

通常総代会提出議案

【審議事項】

第1号議案 リスク管理積立金規程の一部変更の件

第2号議案 平成29年度（第11年度）事業報告、剰余金処分案承認の件

第3号議案 平成30年度（第12年度）事業計画の策定の件

第4号議案 定款の一部変更の件

第5号議案 信用事業規程の一部変更の件

第6号議案 監事監査規程の改定の件

第7号議案 理事及び監事の報酬に関する件

【報告事項】

1 平成29年度（第11年度）貸借対照表、損益計算書、注記表、附属明細書並びに全国中央会及び監事の監査報告について

2 「JAバンク基本方針」の変更について

3 ㈱アグリサポート白山 平成29年度事業報告及び平成30年度事業計画について

全議案全て可決されました





6月23日、JA白山本店多目的ホールで第11回通常総代会が、総代476名（本人出席268名、書面による出席208名）の出席のもと開催されました。

来賓には、JA石川県中央会西沢耕一会長、山田憲昭白山市長、横山隆也、車幸弘両県議会議員にご臨席いただきました。

開会にあたり竹内文雄代表理事組合長は「平成29年度の農業・農協を取り巻く情勢は、TPP協定の締結や改正農協法の施行等により厳しい環境であったが、組合員皆様のご支援とご協力により、決算は計画を上回ることでできたことに感謝し、30年度はJA自己改革の完遂にむけて、より組合員参加によるJA運営に取り組む。」と挨拶しました。

29年度決算の内容は事業総利益13億878万円、経常利益3億2402万円、当期末処分剰余金3億2317万円、出資配当は年1・5%を維持しました。

議事進行にあたっては、議長に北野外茂夫総代（蝶屋支店総代）と村岸聡総代（つるぎ支店館畑地区）を選任。平成29年度事業報告、剰余金処分案承認、平成30年度事業計画の策定等、全7議案の審議が全て原案通り可決承認され、自己改革の実践に関する特別決議も満場一致で採択されました。

平成29年度 表彰

農業功労賞

石森 次雄
村本 安夫



表彰を受ける石森さん

農業奨励賞

【担い手部門】

農事組合法人

手取宮農組合

代表理事

梨木 修一



表彰を受ける梨木さん

理事会だより

第3回理事会

日時／平成30年6月20日（水）午後1時30分

審議事項

第1号議案 平成29年度下期監事監査結果・処理顛末について（可決）

平成29年度下期監事監査の指摘事項に対する回答について審議し、その内容が承認されました。

第2号議案 行政庁に提出する第11年度業務報告書の承認について（可決）

第11年度業務報告書について審議し、その内容が承認されました。

第3号議案 本店改装工事について（可決）

営農経済部の本店集約に伴う本店改装工事について審議し、その内容が承認されました。

第4号議案 農産物検査業務規程の一部変更について（可決）

「農産物規格規程」が改正されたことに伴い銘柄検査を適正に行うための農産物検査業務規程の変更（水稻うるち玄米に「ゆうだい21」を追加、「ヒノヒカリ」を削除）について審議し、その内容が承認されました。

第5号議案 宅地等供給事業実施要領等の改正について（可決）

少子高齢化の進展等により空家が増加する中、所有者と宅地建物取引業者間の報酬額の適正化を図ることを目的に空家等の報酬額の改定について審議し、その内容が承認されました。

第6号議案 出資口数の変動について（可決）

出資減口の申し出のあった組合員2名について審議し、承認されました。

報告事項

1 平成30年5月末事業実績について

2 支店別議案説明会における主な意見質問に対する回答について

3 JAバンク基本方針に基づくJA財務モニタリングの結果について

4 その他

これら4項目について報告しました。

ありがとう 開店3周年!

おんだいねえ広場

ファーマーズマーケット

「よらんかいねえ広場」は平成27年6月の開店以来、多くのお客様にご利用いただいております。日頃の感謝の気持ちを込めて、6月22日、24日の3日間、開店3周年祭を開催しました。

3日間で4650人、前年を上回る来店者で店内は大いに賑わいました。

地元生産者の新鮮な野菜や果実、加工品などが所狭しと並び、麦とろ麺試食会や玉ねぎつめ放題など大盛況でした。対面販売の感謝セールでは、提携先ファーマーズマーケットの全国のJA、「JA千葉」「JA和歌山」

から直送されたスイカ400玉、桃1200箱が人気を集め、スイカは即日完売となりました。

レシート抽選会では、1等のJA白山特別栽培米「比咩の米」や2等以下では商品券などが当たると、大変喜ばれました。23日にマグロの解体ショー、24日に明倫高校吹奏楽部OBによる演奏会が行われ、来店者を楽しませました。

今後も、より一層「地産地消」「地域交流」の拠点となるよう努力いたしますので、変わらぬご愛顧をお願いいたします。



店頭販売は開店前から列ができました



出荷者協会会による麦とろ麺ふるまい



玉ねぎ等のつめ放題也大盛況!



期間中は晴天に恵まれました



多くの来店者で賑わいました

よらんかいねえ広場

出荷者協会視察研修会

6月6日、よらんかいねえ広場出荷者協会の会員38名、JA営農職員3名はJAならけんのファーマーズマーケット「まほろばキッチン」を視察しました。

農産物直売所は1236㎡と全国最大規模の面積があり、出荷農家数は1300名。併設された産直バイキングレストランでは、地元食材を使ったメニューが提供されていました。

店舗概況説明会では出荷者から多くの質問が寄せられ、参加者の意欲を感じられる充実した研修となりました。今後も出荷会員の増員と出荷数・品種拡大に向け、積極的に取り組みます。



有意義な視察となりました



営農だより



説明に聞き入る参加者

溝切り・中干し研修会



6月1日、白山石川営農推進協議会による溝切り・中干し研修会と、溝切り機の実演会が行われました。

「中干し」とは田植え後1カ月経過する頃に、土中の有害ガス除去や根の伸びを良くし、地耐力を高めるために排水する作業です。「溝切り」とは苗の間に溝を切ることの中干しの効果を高め、排水しづらい圃場でも効果が得られます。しかし田んぼでの作業は時間がかかるので、作業効率を上げるための溝切り機の説明がありました。実演会では、当JA新人営農職員も体験。最初は手こずりましたが、うまく乗りこなし貴重な体験をしました。

大麦採取圃場審査・刈取り終了



5月25日、麦採取圃場審査があり、農業総合研究センター、石川農林総合事務所、白山市役所、石川県主要農産物種子協会審査員によって、大麦品種ファイバースノウの糊熟期審査が行われました。

品種固有の特性の保持、異品種の混入、変異種株の有無を確認し、6月4日より刈取りが開始されました。

大雪の影響で平年より生育・作業ともに遅れが出ました。雪解け後の好天により生育はやや回復したものの、収穫量は昨年を下回りました。



井口グリーンワークスさん圃場にて

県内外からの視察受入



おかげさまで「よらんかいねえ広場」の取り組みが評価され、県内外から視察を兼ねてご来店いただいています。6月12日に富山県のJAなんととヨッテカール城端店の皆さま、19日はJAすずし生産者の皆さまが来店されました。店内見学では、地元野菜や加工品等の品揃え、POP等の表示も関心を集め、お土産に買い求める方も多く見られました。参加者は4月にオープンした道の駅「めぐみ白山」にも立ち寄られました。



JAなんと（富山県）の皆さん



JAすずしの皆さん



女性部



ハスワーク作り



色とりどりのハスワーク

6月20日、蝶屋レディースメイトが蝶屋支店2階において「ハスワーク作り」を行いました。「ハスワーク」とは韓国の風習で、毎年お釈迦様の誕生日の旧暦4月8日前後に作りお供えるものです。紙コップを逆さにし、薄い和紙のような紙をのりで貼り合わせて蓮の花を作りました。中にライトを入れると、ランプシェードのように淡い光を放ちとても幻想的でした。インテリアとしても、お仏壇周りにおいても良いとのことでした。会員の皆さんは「最初の作業は地味だけれど、できあがったらとてもきれいだ。色を組み合わせてまた作ってみたい。次回の活動も楽しみ。」と笑顔で話されていました。



「美と健康」のミニ講座



リンパマッサージでリフトアップ

6月27日、蝶屋支店2階とつるぎ支店2階で、「美と健康」のミニ講座を開催しました。
「若返りリンパマッサージ」では、鎖骨・あご・耳の前・脇・肘・お腹・股関節・ひざ裏の8か所を順番にマッサージすることで、リンパの流れがよくなり体も温まることと、頑張りすぎずなんとなく動かす程度から始めるのが、続けるポイントと話がありました。
他にも「ハンドマッサージ」はクリームを塗った時に指先を軽く揉むだけでも良いこと、「ヘッドマッサージ」を行うことでリフトアップの効果が出やすくなるなど、実技を交えた講義に、参加者は時折メモを取り、楽しく聞き入っていました。



石川県家の光大会



販売会は好評でした

6月22日、石川県農業会館6階で、第1回石川県家の光大会が開催されました。
当JA女性部は平成31年2月に開催される「家の光全国大会」で、家の光記事活用発表をするため、今回10分間スライドを交えた発表を行い、好評を得ました。各JA女性部の活動も聞くことができ、今後の活動の参考になりました。
大会では、各JA女性部の加工品販売もあり、当JA女性部が出品した「豆腐シフォンケーキ」や「パウンドケーキ」などはあつという間に完売してしまい「買えなくて残念」と多くの方に言っていました。たださした。ここでも他JAの出品物が、新たな加工品製作の参考になりました。

ボランティアクラブ

6月11日「有料老人ホーム紫苑」、6月25日「特別養護老人ホームあじさいの郷」を、つるぎ支店ボランティアクラブ4名が訪問しました。

メンバーが思案を凝らし考えた紙芝居、うちに描かれた絵からの連想ゲーム、童謡など季節の歌を歌う、ボール回し・お手玉遊びなどで体を動かすなど、盛りだくさんの内容で入居者とふれあい、賑やかな時間を過ごしました。

ボランティアクラブは、毎月この活動を行っています。



あじさいの郷にて



グループホーム紫苑にて

青壮年部



くらやま保育園

トウモロコシ苗定植

6月4日、くらやま保育園園児22名がトウモロコシ苗の定植を行いました。定植の前にJA職員が「トウモロコシは1本あたり600粒ほどあります」と説明すると、数の多さに園児が驚いていました。また、青壮年部蔵山支部盟友に苗はまっすぐに植えるよう説明を受けると、1本ずつ丁寧に作業していました。

8月には収穫体験も行います。

この日は地元老人会「蔵寿会」の皆さんとサツマイモの苗も植え、土に触れる1日となりました。



あいわ保育園

サツマイモ苗定植

6月5日、あいわ保育園駐車場一角にて、園児20名がサツマイモの苗50本を定植しました。

きれいに作られた畝の前に一列に並び、苗を見ながら根っこが出てくる位置を確認。青壮年部林支部の高本支部長に指導を受けながら、畝に手を差して作った穴へと苗を入れ、やさしく土をかけていました。

最後にみんなで「美味しいお芋さんになりますように」とお祈りし、作業を終えました。

今後は、玉ねぎ・ジャガイモそしてサツマイモと収穫体験をする予定で、園児たちはとても楽しみにしていました。



通学合宿(湊公民館)

6月19日、湊公民館にて「美川三校区通学合宿」(湊地区)開所式が行われました。

蝶屋支店の木戸口支店長は「地元の美味しいお米をたくさん食べてください。」と挨拶し、青壮年部蝶屋支部の中島支部長とともに、子ども達に白山コシヒカリ20kgを贈呈しました。

続く食農教育では、JA全農いわの坂本桐子さんが、県内で多く作られている米やスイカ、梨などの食材について説明し、「農業は大変だけど、生産者は毎日変化を楽しみながら作っている。美味しく食べてほしい」と話されました。

4泊5日共同生活を体験しながら、地元老人会との交流や、夕食作りなどを行いました。



青壮年部役員と意見交換

6月19日本店において、JA白山青壮年部役員が来組し、組合長と意見交換を行いました。

組織活性化や農業理解促進に資するため、青壮年部活動における問題点や課題を再認識し、より強固な組織基盤を確立することなどに重点を置き、話し合われました。

今年度の活動では、すでに取り組んでいる「バケツ稲づくりコンテスト」や、野菜苗定植などの「食農教育活動」の普及拡大、盟友獲得へ交流会などが計画されています。

竹内組合長は「若い世代の盟友獲得のために女性盟友の入会も考えてはどうか」と話し、今後の活動に期待を寄せていました。



安全・安心
心をこめて
作っています。

(有)アグリサポート白山は

地域農業振興に向けて情報発信と営農支援に取り組んでいます

(有)アグリサポート白山は水稻・園芸の複合経営のモデルとして、様々な取り組みを行っています。

今回はミニトマトときゅうりの水耕栽培をご紹介します。



水稻育苗ハウスや遊休ハウスなどを有効活用しながら、栽培管理が容易でなおかつ安価な栽培システムを作ることなどを目的にJA全農が開発した「ういずOne」を活用し、ミニトマトときゅうり栽培に取り組んでいます。

発泡スチロール箱を用いた隔離床溶液栽培で、箱の断熱効果により夏期高温時期でも根域温度上昇を防ぎます。点滴チューブで肥料と水を必要な量だけ毎日15分おきに灌水施肥するので、圃場内の水分と養分を均一にでき、生育が揃い、収量の増加が見込まれます。

今回はミニトマト468本、きゅうり126本の定植を行いました。

ガス料金の価格改定について

近時ガスの原料単価が急騰しており、JAでは値上げを抑えて参りましたが、今般やむを得ず10月検針分より平均40円（ランク別60円～20円）/m³の値上げをさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

第2回

グリーンレディース・カレッジご案内 〈くらし快適講座〉暑さに強いこけ玉を作ろう!

日 時 平成30年8月29日(水)
19:00~21:00
場 所 JA白山つるぎ支店 2階
講 師 宮子花園 代表 宮子豊吉氏
参 加 費 1,000円
申込み締切 8月20日(月)

- 蝶屋レディースメイト事務局
澤・阿部羅 TEL 278-2315
- つるぎ支部事務局
藤田・大平 TEL 272-1515
- 手取支部事務局
東野・鶴尾 TEL 255-5001
- 本部事務局
谷口・藤本 TEL 272-3333

JA白山 平成30年度よい食プロジェクト

～ 食農教育応援計画 ～

参加者
募集

金沢中央卸売市場の見学

日 時：平成30年8月8日(水) 5:30～8:00

場 所：金沢市中央卸売市場
金沢市西念4丁目7番1号

対 象：20名

但し、JA白山管内の小学校3年生～6年生、
1人での参加が可能な児童に限ります。

参加費：600円（お弁当代金のみ）

締 切：7月31日(火)までにJA白山本店総務部
もしくは各支店窓口までお申込みください。

※応募者多数の場合は、抽選となりますのでご了承ください。
※当日はJA白山本店集合、バスで目的地へ向かいます。



昨年度の見学の様子

お問い合わせ先 JA白山総務部
TEL 272-3333 FAX 273-0690
e-mail soumu@hakusan.is-ja.jp
よい食プロジェクト担当：

森川・谷口



白山市よりお知らせ

小型特殊自動車(トラクター・コンバイン等)をお持ちの方へ



小型特殊自動車（トラクター、コンバイン、田植機などの乗用の農耕作業用自動車など）を所有されている方は、軽自動車税の課税対象になります。公道を走らない場合でもナンバープレートを取得していただく必要がありますので、まだ登録がお済みでない方は、市役所での登録をお願いします。

※農耕作業用自動車は、大きさに関係なく最高速度が時速35km未満のものは、全て小型特殊自動車に区分されます。

小型特殊自動車の区分

小型特殊自動車の区分	長さ	幅	高さ	最高速度
農耕作業用自動車 (トラクター・コンバイン・ 田植機等)	制限なし	制限なし	制限なし	35km/h 未満
その他の特殊自動車 (フォークリフト・ ショベルロード等)	4.7m 以下	1.7m 以下	2.8m 以下	15km/h 未満

小型特殊自動車の税額 ※平成28年度から税率変更

区 分	H27年度以前	H28年度以降
農耕作業用自動車	1,600円	2,400円
その他特殊自動車	4,700円	5,900円

- 登録に必要なもの 印鑑（所有者・使用者・届出者）・車名（メーカー名）・車体番号・取得年月日がわかるもの・販売証明書（紛失した場合でも登録することができます）
- 納税義務者 軽自動車税は、その年の4月1日において、原動機付自転車、軽自動車、小型特殊自動車及び二輪の小型自動車を所有している人に課税されます。
- 納付期限 軽自動車税の納付期限は、毎年5月末日です。

【問い合わせ先】 白山市役所総務部 市民税課 TEL 076-274-9514

共済こぼれ話

入って良かった…JA共済

『自然災害への備え、大丈夫ですか？』

夏は台風・冬は大雪、さらに地震の脅威も…

今年は大変な大雪で、JA白山管内でも住宅など多くの被害が出ました。

共済金の支払いも234件6,920万円に上りました。

災害や異常気象の前に抗うことはできません。どんなに丈夫な建物でも修繕が必要になりますし、老朽化した家では住み続けるのが困難になってしまうこともあります。今回思いがけない被害にあわれた加入者の皆さまに対し、JA共済は少しでもお役に立てたのではないのでしょうか。

先日、大阪で大きな地震がありました。まだまだこの先どのような災害や異常気象が起きるのかわかりません。石川県は夏は台風、冬は大雪と自然災害が多く発生しています。さらにご存知でしょうか？ 白山市から金沢市中心部を通り津幡町まで至る「森本・富樫断層帯」のことを。震度6強の地震確率は最大で8%とみられていますが、平成7年の阪神淡路大震災も発生確率が最大8%で起こった地震でした。

そのため、あらゆる災害に対して備えておくことが大切です。住む家は失って改めて大事だと気付きます。住まいは単なる建物ではなく、そこに住まう人の記憶や思い出がいっぱい詰まった人生の一部です。災害後、すぐに修繕や建て直しができないと不安で心まで病んでしまうことがあります。そうならないためにもJAの「建物更生共済」にご加入ください。いつどんな災害がやってきても、たとえどんな被害を被っても、私たちJA共済は皆さまの暮らしや人生を支え続けます。

建物更生共済

JAの お役に立ちます！

火災はもちろん、地震などの自然災害から大切な建物や家財を守る充実保障！

お役に立った全国の主な自然災害の支払実績			
発生年月	災害名	支払件数	支払金額
平成19年3月	能登半島地震	16,059件	137億円
平成23年3月	東日本大震災	682,486件	9,361億円
平成28年4月	熊本地震	89,789件	1,450億円
平成28年4月	平成28年度4月低気圧	11,074件	30億円
平成29年10月	台風21号・22号	58,242件	186億円

ご契約例 住宅物件・防火造：満期共済金100万円・火災共済金3,000万円・協定共済価格3,000万円・比例てん補方式
臨時費用共済金の支払割合 30%・保障期間 30年（共済期間10年：継続回数2回）・月払い（口座振替払）の場合

共済期間30年間、火災や落雷、自然災害3,000万円、地震※の被害1,500万円まで保障いたします。

支払われる共済金は火災や落雷、自然災害の場合は損害の額、地震の場合は損害の額の50%が限度です。
※地震による倒壊・津波の被害・地震による火災等が対象となります。

リフォーム費用等、ご自宅の修繕費に活用できる100万円の満期共済金があります。 満期共済金は保障期間の満了時(30年後)にお受取りになれます。

安心の保障が月々 月払い 共済掛金 **13,681円！** 【平成30年4月1日現在】
※継続後のご契約に適用される約款・掛金率は継続時における約款・掛金率になります。

今だからこそ、ぜひ加入をご検討ください



※お支払いには一定の条件がございます。

お問い合わせは… 白山農業協同組合 本店共済課（TEL 076-272-3017）または各支店窓口まで

登録番号【18191510149】この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては「重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

夏の JA白山オリジナル 貯金キャンペーン

キャンペーン期間 平成30年6月11日月～8月31日金

定期貯金・定期積金新規お取組みで
JA商品券をさしあげます!

※定期積金においては、再契約も含まれます。



定期貯金

新規取引

ご契約金額に応じてJA商品券を進呈!

- 預入期間1年以上（自動継続）
- 個人の方のみ対象

ご契約額 100万円以上 **商品券 500円**

ご契約額 300万円以上 **商品券 3,000円**

ご契約額 500万円以上 **商品券 6,000円**

ご契約額 1,000万円以上 **商品券 13,000円**

定期積金

新規取引

再契約取引

ご契約金額に応じてJA商品券を進呈!

- ご契約期間1年以上、口座振替扱いに
限ります
- 個人の方のみ対象

ご契約額 50万円以上 **商品券 500円**

ご契約額 100万円以上 **商品券 1,000円**

注意事項

- ・この定期貯金・定期積金は原則として満期前に中途解約することはできません。満期前に中途解約するときは、JA商品券またはJA商品券相当額をご返却いただきます。
- ・JAオリジナルキャンペーン取組時においてもJAバンク石川夏の感謝祭の付帯取引（年金振込・給与振込・JAカード・ネットバンク・5大公共料金・カードローン）によるJA商品券500円分プレゼントは対象となりますが、粗品進呈は対象外といたします。
- ・当キャンペーンは店頭金利にてお取組みとなります。

詳しくは、最寄りの店舗窓口へお問い合わせ下さい。



夏のわくわく キャンペーン2018



イベント期間中にJA-SS店頭にて購入した
ガソリン・軽油30ℓ分のレシートで応募!!
抽選で
「能登牛・ひやくまん穀」等
プレゼント!!



①レシート有効期間
平成30年7月20日(金)
～8月19日(日)給油分

②応募期限
平成30年8月24日(金)
当日消印有効



私たちの (平成30年5月末実績参考)

組合員数	6,850名(団体含)
貯金残高	70,908百万円
貸出金残高	17,420百万円
長期共済保有高	2,124.6億円
購買品供給高	395,382千円
販売品取扱高	52,944千円
職員数(パート除く)	140名

無料税務相談会 **要予約**



当JA顧問税理士
福田 正寛

開催日時
平成30年7月25日(水)
平成30年8月24日(金)
午前9時～12時(基本30分単位)

開催場所
JA 白山 本店

お問い合わせ・お申込先(担当/本店総務課 谷口)

TEL 272-3333 FAX 273-0690
e-mail soumu@hakusan.is-ja.jp

お申込み順に受け付けております。

